

「第9回生物多様性MIDORI賞」 授賞式・受賞者フォーラムを開催

HOT PRESS

Vol. 736 September 30, 2026



リサ・パグンタラン-マルテ氏 (フィリピン)
フィリピン生物多様性保全財団 (PhilBio)
エグゼクティブ ディレクター



アレクサンドラ・ツィーマーマン氏 (ドイツ)
国際自然保護連合 (IUCN) 種の保存委員会 (SSC)
人間と野生生物の紛争・共存専門家グループ長

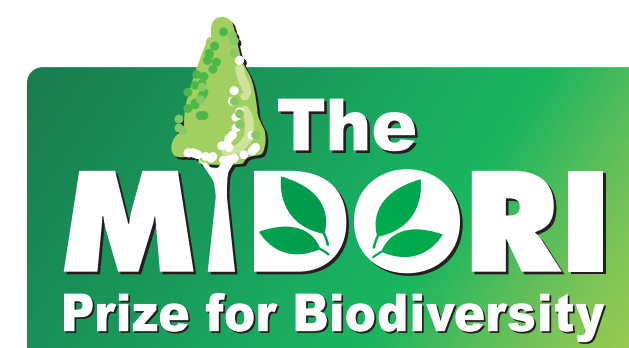


公益財団法人イオン環境財団は、生物多様性条約第10回締約国会議の日本開催と当財団設立20年を契機として、2010年「生物多様性MIDORI賞」を創設しました。本賞は生物多様性保全と利活用、持続可能な社会の実現に顕著な功績を挙げた個人を顕彰するもので、国連生物多様性条約事務局との共催により隔年で実施しています。本年は、フィリピンハダカコウモリやビサヤサイチョウなど絶滅危惧種の調査保全で成果を挙げたフィリピンのリサ・パグンタラン-マルテ氏と、人間と野生生物の共存を生物多様性保全の重要課題として提唱し、国際指針の策定や実践ネットワークの構築を主導したドイツのアレクサンドラ・ツィーマーマン氏の2名を授賞しました。今回を含め、これまでの受賞者は21カ国23名となりました。

公益財団法人イオン環境財団

イオン環境財団

検索



<https://www.aeon.info/>